

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 4 月 24 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900036		
法人名	有限会社 松下		
事業所名	グループホーム なごみ		
所在地	広島県三原市明神二丁目11番13号 (電話) 0848-67-0294		
自己評価作成日	平成24年12月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成25年1月15日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・笑顔と笑い声がいつも聞こえ、安全で安心して過ごせるホーム作りのために努力している・入居者一人ひとりの個性を活かし、尊厳を守るケアへの努力と取り組み・誰もが気軽に立ち寄れるような明るく地域に開かれた場所作り

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホームなごみ（以下、ホーム）は、地域の医療法人が母体となって開所されています。医療面で安心が得られることと、認知症に対する知識の深い職員が多く勤務していることがホームの特徴です。現在は、介護が必要な入居者の割合が増えていますが、一人ひとりに応じた関わりとケアの提供により、落ち着いた生活が送られています。きめ細かいケアを提供するため、独自のアセスメント様式を作成し、情報共有しやすい工夫も行われています。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(なごみ1階)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	4項目の理念を設定し日々の生活の中に取り入れている 「穏やかな生活」「生き甲斐のある生活」 「その人らしい尊厳を認め合う生活」 「安心の出来る生活」 会議等でも話し合っている	理念は、職員が入居者に不安を与えないような言葉かけをしていることから浸透していることが伺えました。 また、新入職員には、日常業務の中で具体的な支援場面を通じて理念が伝えられています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	買い物や散歩のときに 必ず挨拶をしている 行事の案内等を行い、季節のお花等をいただいたりしている	季節行事にボランティアの訪問があります。また、「何かあった時に助け合う関係になりたい」との思いから地元の高齢者グループの定期訪問を受け入れておられます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	入居者が作成したくずかごを 行事の際に参加者に使って もらっている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度のペースで運営推進会議を開催し、会議では評価について説明を行い、意見・要望をお聞きして改善できるように努力している	運営推進会議では、事故や入退居の報告が行われます。参加者からの助言を受け、実践した結果を再度報告するという業務改善サイクルが機能した会議になっています。また、抑制の報告頻度を改善するよう助言され、取り組んだ事例も聞くことができました。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	管理者等がこまめに連絡を取り 入居状況の提供や、入居希望者への 対応を行なっている	市担当者の異動はありますが、ホームの概要や取組み内容をその都度伝えて理解を得ておられます。 また、市からの指導を受けた際は、取組み方法について、相談を持ちかけながら改善に取り組まれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	見守りを中心に注意深く日々のケアの中で身体拘束防止に努めている。やむを得ず行う場合は出来るだけ短期間で終わるように最善の努力を行なっている	拘束は、理念の一つである「安心のできる生活」を実現する支援の一環として捉えられています。拘束する場合は、市への事前届け出と期間の厳密な設定などの手続きを経ています。入居者への対応や介護方法は、職員間で共有し、入居者の安心を大事に考えておられます。	入居者の状況によっては、拘束はやむを得ない場合もあると思われませんが、制限のない暮らしについて、再度、入居者の視点からも検討されることを期待します。
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	高齢者虐待防止法に基づく虐待の定義を認識し スタッフ全員でミーティングを行い実際のケアの中で見過ごすことのないように注意している		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	成年後見制度を利用していた入居者がいたので、スタッフ全員に説明を行なっている		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	管理者が契約時には十分な説明を行い理解していただいたうえで契約をしてもらっている		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	玄関に御意見・御要望を記入していただける用紙を準備している 運営推進会議等で家族の意見を求め、意見を聞く機会を設けている	家族からの声をさまざまな形で汲み取ることができるよう、相談時間は定めずに、いつでも相談できることを伝えておられます。 家族から、「行事を事前に伝えてもらいたい」との意見を受けて改善した事例を聞くことができました。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月、ミーティングを開催し経営サイドにも出席していただき様々な立場からの提案等を聞く機会を設けている</p>	<p>職員同士で話し合った意見がまとめられて、管理者に提案されています。掃除の分担や、食事の献立作成者、検食者などについて話し合い、管理者と職員が一緒になってよりよい解決策を見つけ出しおられます。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職務評価シート等を活用し職員個々の自己研鑽を促している</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修やミーティングでの話し合いを行なっている。資格取得への協力やホーム内研修会を開き、意欲の向上につながるようにしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の事業所との交流等を行い学習できる機会を多く持つようにしている</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人・家族から今までの生活歴や家族に対する思い等を、多面にわたり情報として提供していただき万全の体制で受け入れる努力をしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族の不安や困っていることをゆつくりと聞く時間をとるようにしている また、入居前の生活状況等を聞き相談相手となり、安心出来るように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	グループホームでの生活が本人や家族にとって良い結果に結びついたのかどうか見極めながら対応している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	食事やおやつ作り等、日常生活を共にし、レクリエーションや四季を通しての歌を楽しみ、リハビリ体操などで身体を動かし、共に支えあっている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時には日頃の様子や生活状況を伝え、記録の開示や説明をし共に支えあう努力をしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	大切な友人・知人との面会の受入れや電話や手紙のやり取りが出来るように援助を行なっている ドライブで本人が生活していた場所を走ったりして、心のケアに努めている	信仰を持っている入居者や地元行事を大切に思っている入居者など、一人ひとりの馴染みの人や関係を把握し、個別の支援に努めておられます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	話好きの利用者同士が楽しく過ごせるスペース作りや一人ひとりが毎日笑顔で生活できるような楽しく明るい場所の提供が出来るように努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	要望があれば対応をしていく		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族の意向は十分にうかがい、本人の思いもしっかりと受け止めプランに反映をするようにしている	入居後の様子は、生活動作を項目に掲げたアセスメント様式、これまでの生活歴については「バックグラウンドシート」で把握されています。記録は、本人の言葉をそのまま記入して、共有しやすい工夫がみられました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	バックグラウンド、経過・発症シートの記入を家族に依頼し把握に努めている 面会時等にも聞かせていただくこともある		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタルチェックにより体調の把握に努め日々の生活状況にも注意し、必要に応じて主治医に相談し、往診等の依頼をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ミーティングで個々の状態について話し合いを行い、モニタリングしている必要がある場合は、プラン変更を行い状態に応じたプランの作成を行なっている</p>	<p>ケアプランは、本人の言葉と家族の希望を反映させて作成されています。モニタリングは、定期または状態が変化した時にケアスタッフから得た情報を加えて行われています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の生活を記入した介護記録や申し送りシートを活用・共有してケアプランに反映させている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>状況に応じて管理者・スタッフが随時支援を行なっている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティア等の協力で明るく、楽しい暮らしが出来るように努めている また、七夕コンサートやクリスマスコンサートで歌やふれあいの場を設け楽しんでいただいている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>体調の安定を図るために、協力医の支援を受け、内科・整形外科・歯科等随時、または定期的な往診・受診の対応をしている</p>	<p>現在は、医療機関から入居するケースが多く、協力医療機関の医師が健康管理の要となっています。専門科の医療受診は、家族が付き添っておられますが、必要に応じて管理者も同行して普段の生活の様子を医師に伝えておられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	現在、看護職員は勤務していない		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は情報の提供を行い、退院時には入院時の状況の情報提供を依頼している</p> <p>入院時に本人の状態確認にも定期的に行くようにしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>体調の急変や重度化については家族や病院関係者、ホームのスタッフで早い段階において繰り返し話し合いを行い相談している</p>	<p>法人として看取りは行わない方針です。現在、ホームでの対応範囲を超えと思われる場合は、入居者の状態にふさわしいサービスが利用できるよう家族に説明されています。看取りが可能な体制づくりについては、将来の検討課題とされています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>消防署による救命救急の訓練を実施し実践力を身につけ、事故等の対応に備えている</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の消防訓練を実施して、昼夜を問わず、利用者の安全を守るために全職員と地域の方へも協力を願っている</p>	<p>新築の建物であり、スプリンクラーも設置が完了しています。地域には、災害発生時に入居者を保護してもらいたいという希望があるため、近隣住民へ協力を呼びかけておられます。</p>	<p>夜間は、職員が少ないため、救出方法を一層工夫する必要があります。消防訓練の内容を見直して、夜間想定訓練を取り入れることを提案します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	十分に注意しながらケアをしている 記録上では個人名はアルファベット4文字を用いて表記している	認知症実践者研修修了者、認知症ケア専門士などの専門知識を持った職員が多数勤務していることがホームの強みです。一人ひとりに合わせた対応が入居者の落ち着いた生活をもたらすことをOJTで身につけるようにしております。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個人ごと表出の度合いが異なるので利用者一人ひとりに合わせた声かけを行い、返事を待つように対応している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者全て日中の過ごし方や生活のリズムが違うので、個々のペースにあわせて、その人らしい生活のスタイルを支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の好みの服等を聞きながら介助したり、ヘアクリームや化粧水を使われたり、利用者の家族の協力で散髪の支援も行なっている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	色や香りの感じられる食事やおやつ作り等、楽しみを持っていただき可能な限り出来ることはスタッフと一緒にいただいている	入居者の健康状態による制限と食事の楽しみが両立できるよう、食事には工夫を凝らしております。彩りがよく、目でもおいしく感じる食事が提供されてきました。今年1月からは、栄養士が作成した献立に沿って食事が作られています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養のバランスを考えた調理を心がけている。一人ひとりの水分摂取量と食事摂取量はスタッフ全員で把握し記録している</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアの援助をしている 義歯の方は就寝前には外し、消毒洗浄に取り組んでいる</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄のパターンを把握し失敗や恥ずかしい思いをしないような支援を行なっている</p>	<p>現在は、介助を必要とする入居者の割合が高くなっています。睡眠を妨げないように、夜間はおむつを使用する場合があります。一方で、トイレに行くために起き出してきた入居者には安全に誘導して、失敗が少なくなるようにされています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事や水分をしっかり取ることでなるべく便秘をしないように努力している 食事等で予防できない場合には主治医に相談し対応している</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>タイミングを見計らってスムーズに気持ちよく入浴できるような声かけに努めている</p>	<p>日曜日を除いて、週2～3回入浴できるよう計画されています。洗髪が苦手な入居者は、近所の美容院でシャンプーしてもらうなど、ホーム以外の社会資源を活用している事例を聞くことができました。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの生活習慣に合わせて自室でゆっくり休息できるように配慮している		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	スタッフ全員が一人ひとりの薬をしっかりと把握し、症状の変化にすばやく対応できるように支援している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	手伝いを通して日々、生き生きと生活してもらえるように支援している 皮むきや洗濯干し等の作業をスタッフと共に楽しみながら行なっている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩や買い物等の外出が出来るようにしている。春は花見、秋は紅葉狩りと家族の協力も得て支援している	入居者の重度化が進み、ホーム全体で一斉に出かけることが難しくなっています。現在は、近隣への散歩が入居者の大きな楽しみになっています。昨秋の紅葉狩りは、思い出づくりの一環として全員で出かけられるよう、念入りな計画と準備を経て実現されました。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族の協力で所持できるようにしている 買い物はスタッフの付き添いで外出している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人の希望があれば自由に行えるようにしている		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有スペースでソファーに座られたりテレビや音楽を楽しまれている また、リビングに季節感を感じていただけるように、毎月、壁画を工夫している	ホームの周りには、共用スペースからの風景を遮る建物がないため、一日を通してさまざまな方角から日差しが差し込みます。季節感を出すために壁飾りを毎月替えておられます。職員は、日々を明るく過ごせるような話題を提供し、和やかな雰囲気が感じられました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	一人ひとりが、思い思いに音楽を聴かれたり、読書をしたり、話をしたりと自由に楽しめるように配慮している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	面会に来られたときに楽しく会話されたりお茶を飲まれたりされるスペースになっている。また、利用者の好みのものを置かれ、安心感を持って生活が出来ている	居室のエアコンと筆筒は備え付けです。入居者の多くは、ベッドをリース利用されています。家具の配置は、本人の身体状況と習慣を加味して決めておられます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレは大きく表示したり、居室には目印をつけてわかりやすいように工夫している		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(なごみ2階)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	4項目の理念を設定し日々の生活の中に取り入れている 「穏やかな生活」「生き甲斐のある生活」 「その人らしい尊厳を認め合う生活」 「安心の出来る生活」		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	買い物や散歩のときに必ず挨拶をしている 行事の案内等を行い、季節のお花等をいただいたりしている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	入居鞆が作成したくずかごを行事の際に参加者に使ってもらっている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では評価について説明を行い、意見・要望をお聞きして改善できるように努力している		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	入居状況の提供や、入居希望者への対応を行なっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	見守りを中心に注意深く日々のケアの中で身体拘束防止に努めている		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	スタッフ全員でミーティングを行い実際のケアの中で見過ごすことのないように注意している		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	成年後見制度を利用していた入居者がいたので、スタッフ全員に説明を行なっている		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時には十分な説明を行い理解していただいたうえで契約をしてもらっている		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	玄関に御意見・御要望を記入していただける用紙を準備している運営推進会議等で家族の意見を求め、意見を聞く機会を設けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月、ミーティングを開催し経営サイドにも出席していただき提案等を聞く機会を設けている</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職務評価シート等を活用し職員個々の自己研鑽を促している</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修やミーティングでの話し合いを行なっている。資格取得への協力やホーム内研修会を開き、意欲の向上につなげるようにしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の事業所との交流等を行い学習できる機会を多く持つようにしている</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人・家族から今までの生活歴や家族に対する思い等を、多面にわたり情報として提供していただき万全の体制で受け入れる努力をしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族の不安や困っていることをゆつくりと聞く時間をとるようにしている また、入居前の生活状況等を聞き相談相手となり、安心出来るように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	グループホームでの生活が本人や家族にとって良い結果に結びついたのかどうか見極めながら対応している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	食事やおやつ作り等、日常生活を共にし、レクリエーションや四季を通しての歌を楽しみ、リハビリ体操などで身体を動かし、共に支えあっている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時には日頃の様子や生活状況を伝え、記録の開示や説明をし共に支えあう努力をしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	大切な友人・知人との面会の受入れや電話や手紙のやり取りが出来るように援助を行なっている ドライブで本人が生活していた場所を走ったりして、心のケアに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	話好きの利用者同士が楽しく過ごせるスペース作りや一人ひとりが毎日笑顔で生活できるような楽しく明るい場所の提供が出来るように努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	要望があれば対応をしていく		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族の意向は十分に伺い、本人の思いもしっかりと受け止めプランの見直しをするようにしている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	バックグラウンド、経過・発症シートの記入を家族に依頼し把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタルチェックにより体調の把握に努め日々の生活状況にも注意し、必要に応じて主治医に相談し、往診等の依頼をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人・家族、それぞれの関係者から意見や要望を聞き、思いを反映させたプランにしている</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の生活を記入した介護記録や申し送りシートを活用・共有してケアプランに反映させている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>状況に応じて管理者・スタッフが随時支援を行なっている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティア等の協力で明るく、楽しい暮らしが出来るように努めている また、七夕コンサートやクリスマスコンサートで歌やふれあいの場を設け楽しんでいただいている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>体調の安定を図るために、協力医の支援を受け、内科・整形外科・歯科等随時、または定期的な往診・受診の対応をしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	現在、看護職員は勤務していない		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は情報の提供を行い、退院時には入院時の状況の情報提供を依頼している</p> <p>入院時に本人の状態確認にも定期的に行くようにしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>体調の急変や重度化については家族や病院関係者、ホームのスタッフで早い段階において繰り返し話し合いを行い相談している</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>消防署による救命救急の訓練を実施し実践力を身につけ、事故等の対応に備えている</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の消防訓練を実施して、昼夜を問わず、利用者の安全を守るために全職員と地域の方へも協力をお願いしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	十分に注意しながらケアをしている 記録上では個人名はアルファベット4文字を用いて表記している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個人ごと表出の度合いが異なるので利用者一人ひとりに合わせた声かけを行い、返事を待つように対応している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者全て日中の過ごし方や生活のリズムが違うので、個々のペースにあわせて、その人らしい生活のスタイルを支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の好みの服等を聞きながら介助したり、ヘアクリームや化粧水を使われたり、利用者の家族の協力で散髪の支援も行なっている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	色や香りの感じられる食事やおやつ作り等、楽しみを持っていただき可能な限り出来ることはスタッフと一緒にしていただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養のバランスを考えた調理を心がけている。一人ひとりの水分摂取量と食事摂取量はスタッフ全員で把握し記録している</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアの援助をしている 義歯の方は就寝前には外し、消毒洗浄に取り組んでいる</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄のパターンを把握し 失敗や恥ずかしい思いをしないような支援を行なっている</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事や水分をしっかり取ることでなるべく便秘をしないように努力している 食事等で予防できない場合には主治医に相談し対応している</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>タイミングを見計らってスムーズに気持ちよく入浴できるような声かけに努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人ひとりの生活習慣に合わせて自室でゆっくり休息できるように配慮している		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	スタッフ全員が一人ひとりの薬をしっかりと把握し、症状の変化にすばやく対応できるように支援している		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	手伝いを通して日々、生き生きと生活してもらえるように支援している 皮むきや洗濯干し等の作業をスタッフと共に楽しみながら行なっている		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	散歩や買い物等の外出が出来るようにしている。春は花見、秋は紅葉狩りと家族の協力も得て支援している		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	家族の協力で所持できるようにしている 買い物はスタッフの付き添いで外出している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望があれば自由に行えるようにしている</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有スペースでソファーに座られたりテレビや音楽を楽しまれている また、リビングに季節感を感じていただけるように、毎月、壁画を工夫している</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人ひとりが、思い思いに音楽を聴かれたり、読書をしたり、話をしたりと自由に楽しめるように配慮している</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>面会に来られたときに楽しく会話されたりお茶を飲まれたりされるスペースになっている。また、利用者の好みのものを置かれ、安心感を持って生活が出来ている</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレは大きく表示したり、居室には目印をつけてわかりやすいように工夫している</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム なごみ

作成日 平成 25 年 5 月 14 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	<災害対策> 消防訓練の内容が不十分である。	①夜間の消防訓練を実施し、避難方法を習得する。 ②災害時、地域の人に協力していただける体制を作る。	・夜間想定での避難訓練の開催。 ・避難方法の再考。 ・運営推進会議の活用。 ・地域の人を含めた避難訓練の実施。	1年 (H25年度末を目途に)
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。